

## 1990年〈世の動き〉

戦争か平和解決か、緊迫の湾岸情勢（イラクが8月2日クウェートに侵攻）▶11月12日新憲法の下、初の「即位礼正殿の儀」が行われる▶1月1日現在の郵便貯金限度額500万円→700万円に▶大型景気（岩戸景気）を抜き、戦後2番目の長さに（6ヶ月の月例経済報告で）▶日本のゴミ空前の量88年度厚生省調査（東京ドーム130杯分）▶割り箸論争業界が反転攻勢（木材の有効活用）▶樹木医50人誕生▶今世紀内に、オゾン層破壊物質の生産、消費の全廃を目指すモントリオール議定書「合い言葉は地球にやさしく」▶花の万博開幕（大阪）▶哀悼（敬称略以下同じ）（海外）米国元駐日大使エド温・ライシャワ（79）、（国内）元社会党委員長 飛鳥田一雄（75）、女優、歌手「湖畔の宿」高峯美枝子（71）、元横綱栄錦、日本相撲協会理事長 春日野清隆（64）

### 平成2年度

#### （県木連、県木材業界の動き等）

- ◆中国人4名を対象に日本の林業・林産業技術研修会開催（10月修業式）
- ◆5月17日 林材業労災防止協会岐阜県支部総会「林業で死亡ゼロ実現」
- ◆5月29日 改組30周年第30回通常総会（岐阜産業会館）及び県木材産業政治連盟・県木材産業振興対策研究会総会  
2年度の主要事業
  - ①国産材振興に関する総合対策の推進
  - ②木材産業高度化総合対策と体質強化
  - ③木材需要拡大事業の効果的な実施
- ◆6月6日 「岐阜県木材需要拡大協議会」の総会で、構成団体4団体から10団体に組織拡充決定
- ◆6月20日 第17回東海地域林産協同組合等連絡協議会（恵那市）
- ◆6月30日～7月1日 名古屋市緑区で「岐阜県の産直住宅フェア」に産直住宅6棟を建設し岐阜県の産直住宅をPR
- ◆10月8日 「木の日」統一行動  
県木材需要拡大協議会本部は知事、県議会議長、教育長等へ木材利用の推進要望、支部協議会は市町村長、議長等へ要望
- ◆7月2日 「東濃桧ブランド向上推進委員会」開催、ブランド化の今後の推進について協議
- ◆8月23～26日 林材振興大会の併催行事であるウッディースペース「みどりーむ」（岐阜高島屋）が開催され、14団体が出展
- ◆第18回JAS製品普及推進展示会（8月29日西垣林業小牧市場23社、10月19日東海木材相互大口市場へ18社出展）両展示会で16社入賞
- ◆2月12日 岐阜県プレカット協議会の設立
- ◆3月25日 東濃桧品質管理センターの設立総会開催、33社で発足。理事長に杉山幹金氏を選任。平成3年度から「東濃桧認定工場」制度が発足。

#### （国林政の動き等）

- ◆林政審議会答申（今後の林政の展開方向と国有林林野事業の経営改善）



中国人研修生（5名）と小林元県木連会長、関係者が「春節」を祝う（可児市土田公民館）



平成2年5月29日 改組30周年 第30回通常総会  
小林県木連会長挨拶



平成3年3月25日 東濃桧品質管理センター設立総会  
杉山理事長の挨拶

## 1991年〈世の動き〉

1月多国籍軍イラク攻撃、湾岸支援に日本90億ドル支出▶地価と株価の異常高騰で膨らんだバブル経済の崩壊（株、不動産、絵画、ゴルフ会員権の投機4点セットがおどり企業モラルをなおざりにしたマネーゲームが露呈）▶長崎の雲仙普賢岳200年ぶりに噴火▶崩れ去った超大国ソ連邦が消滅、69年の歴史に幕を閉じる▶大相撲の千代の富士、大乃国引退、かわって若・貴ブーム▶哀悼（海外）米国映画「シェーン」で知られる米国女優ジーン・アーサー（90）、（国内）作家 井上 靖（83）、ホンダ技研工業創業者 本田宗一郎（84）、俳優 上原 謙（82）

### 平成3年度

#### （県木連、県木材業界の動き等）

- ◆ 5月16日 第74回理事会①木材産業労働時間短縮の推進②配送料の有料化問題等を協議
- ◆ 5月20日 東濃松認定工場初の「東濃松目揃会」開催、35社の担当者出席
- ◆ 5月29日 第31回通常総会（岐阜産業会館）役員改選新任理事8名監事1名  
県木材産業政治連盟・県木材産業振興対策研究会の通常総会
- ◆ 6月4日～3月 伐出ロットの大型化素材生産コストの軽減等に資する「素材生産構造改善診断事業」を実施
- ◆ 6月5日 書面議決で副会長に高橋二郎氏、下呂製材（協）の新規加入を承認し、県木連加入組合61組合となる
- ◆ 6月6日 県木材需要拡大協議会総会及び県産直住宅協議会（新会長に粥川真策を選出）の総会
- ◆ 6月18日 東濃松品質管理センターによるセンター発足「記念展示即売会」を東海木材相互市場熱田市場で開催。22社出品し平均価格29万6千円で販売
- ◆ 6月29～30日 「産直住宅フェア」を名古屋市住宅供給公社「シティハイツ滝の水」で開催
- ◆ 7月31日 針葉樹の構造用材の日本農林規格制定施行
- ◆ 8月23日 「岐阜県林材振興大会」
- ◆ 10月8日 県木材需要拡大協議会では、本部は県庁へ、支部は市町村等への要望
- ◆ 10月28日 第75回理事会開催
  - ①新JAS製材品使用促進協議会の設置
  - ②労働時間短縮推進員72名の委嘱等
- ◆ 9月11日 東濃松管理センターによる「記念市」を日栄不動産小牧市場で、11月13日西垣林業名古屋市場で開催
- ◆ 11月11日 構造用JASを補完するため、「東濃松柱材化粧基準」を全木連の理事会で承認
- ◆ 3月18日 「JAS製材品普及促進協議会」設立

#### （国林政の動き等）

- ◆ 森林法改正（「国有林の地域別の森林計画」、「特定森林計画制度の創設」）、国有林野事業改善特別措置法改正、国有林野事業3年改善計画



8月23日 第23回岐阜県林材振興大会



5月21日 第2回東濃松品質管理センター総会  
杉山理事長挨拶



中国人研修生（4名）九州福岡空港から帰国（大濠公園にて記念写真）

## 1992年〈世の動き〉

バブルが終わって、日本経済は「なべ底型」長期不況の波に▶ボーナスついに「現物支給」N E C（日本電気）課長と管理職以上対象に自社製品引換券を▶フランスで冬季五輪、夏季大会はスペインで開催▶自衛隊の海外派遣を可能にする国連平和活動（P K O）法成立▶10月23日天皇、皇后両陛下中国訪問へ、日中の戦後に1つの区切り▶日本で木造3階建てマンション横浜に▶米国民主党ビル・クリントン氏大統領に▶哀悼（海外）西独の元首相ヴィリー・ブランド（78）、（国内）漫画家で国民栄誉賞受賞者 長谷川町子（72）、作家 松本清張（82）

### 平成4年度

#### （県木連、県木材業界の動き等）

- ◆5月19日 新J A S普及定着を図るため、「東濃松展示即売会」を（株）東海木材相互市場で開催
- ◆5月21日 東濃松品質管理センター総会（製材登録格付機関「全木連」から東濃松柱材の認定寸法を取得）
- ◆5月22日 （社）全日本木材市場連盟岐阜大会及び創立40周年記念「岐阜大会」
- ◆5月25日 第32回通常総会（岐阜産業会館）
  - ①素材生産の近代化 ②新J A Sの普及啓発
  - ③機械プレカットの推進 ④スギ材ブランド化
  - ⑤中小企業集団育成 ⑥厚生年金基金の新規事業推進等
- ◆5月27日 岐阜県プレカット協議会総会（木材機械プレカットモデル指針作成事業等）
- ◆6月9日 県木材需要拡大協議会総会（日本間を作ろう運動の展開を重点）
- ◆6月22日 東濃松品質管理センターの役員会、本年度第1回目の目揃会実施
- ◆新規事業として、県木連に「福祉推進員」を設置し、労働福祉対策を強化（通年）
- ◆「スギ材ブランド化促進事業」の実施により、平成4年度から8年度までスギ材のブランド化や商品のPR等を実施
- ◆7月31日 第77回理事会厚生年金基金「単独設立」を承認、設立準備委員20名を選任
- ◆8月21日 岐阜県林材振興大会と併催行事「みどりーむ」への出展
- ◆10月8日 県木材需要拡大協議会の「木の日統一行動」
- ◆中国人5名による第4期研修事業始まる（9月6日来日1年間の研修）
- ◆東濃松品質管理センターによる「目揃会」2回「展示即売会」を5回実施（通年）併催行事の「国産材流通システム優良事例コンクール」で林野庁長官賞受賞
- ◆12月21～22日 厚生年金基金設立準備委員会及び金融機関打合せ
- ◆3月22日 スギ材ブランド名選定委員会を開催し、岐阜県のスギ製品ブランド名を「長良杉」に決定
- ◆3月18～23日 「J A S製品追跡調査」県産材の建築現場等調査（岐阜、愛知県）

#### （国林政の動き等）

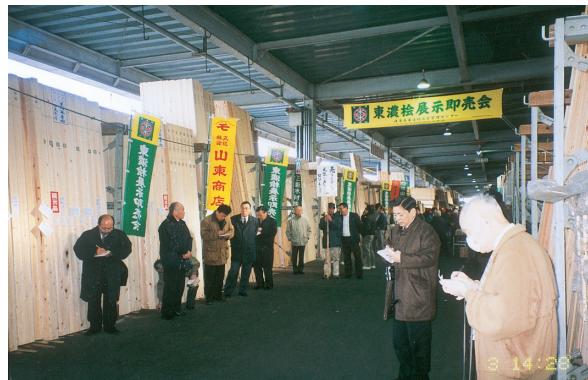
- ◆国連環境開発会議（地球サミット）



第4期中国人研修生来日 大阪空港での研修生



「木の日」岐阜地域協議会及び東濃地域協議会では  
「ミス木の日」が同行し「木の鍵」を手渡す



5月19日 東濃松認定工場出品の新J A S製品展示会  
(株)東海木材相互市場)

## 1993年〈世の動き〉

バブル崩壊後始まった不況は増すばかり出口見えず▶米国ハワイ出身大閑曙が史上初の外国人横綱に▶皇太子妃に小和田恒外務省事務次官の長女雅子さんに決定（1月19日皇室会議）。6月9日ご結婚▶プロサッカーの発足▶偏西風の蛇行とエルニーノ現象は世界的な異常気象に、冷夏で一個のキャベツ400円のものも、コメ作況指数75に悪化▶38年間続いた自民党の55年体制崩壊、細川護熙日本新党代表を首班とする八党派の連立政権発足▶「今太閣」「金権政治の象徴」等といわれた田中角栄元首相逝く▶哀悼（海外）女優オードリー・ヘップバーン(63)、（国内）元首相 田中角栄(75)、歌手 藤山一郎(82)、俳優 ハナ肇(63)、司会者 逸見政孝(48)

### 平成5年度

#### （県木連、県木材業界の動き等）

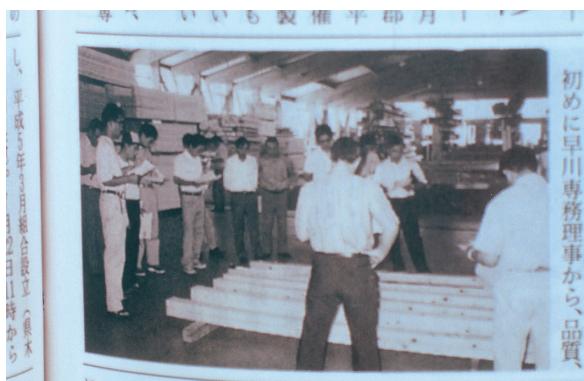
- ◆岐阜県木材青壮年団体連合会通常総会（第33回岐阜大会 新会長に北村 齊氏）
- ◆2ヶ年事業の「国産材产地体制整備事業」の一環として東濃松など製材品に関する消費者のアンケート調査（東濃地域の婦人会員）、製材品取引システム改善研究会の実施及び新商品等開発計画策定委員会の開催
- ◆5月14日 東濃松品質管理センター総会目揃会3回、展示即売会4回実施（通年）
- ◆5月28日 第33回通常総会 ①国産材振興 ②企業体质への改善強化 ③木材需要の拡大 ④週休2日制移行への対応等
- ◆5月28日 「製材業の将来について」座談会（全木連西谷専務と若手経営者）
- ◆6月7日 県プレカット協議会総会
- ◆6月15日 県木材需要拡大協議会総会地球環境問題顕在化と「2期対策」推進
- ◆8月31日 中国人研修終了式
- ◆9月20～22日 厚生年金基金事務取扱説明会（産業会館、益田総合庁舎外）
- ◆9月30日 前年度に引き続き、スギ材の需要拡大に資するため「スギ材ブランド化調査委員会」の開催
- ◆10月4日 県木材厚生年金基金事務局事務所開き（10月1日付け設立認可）
- ◆10月8日 県木材需要拡大協議会の「木の日統一行動」県庁、市町村等へ要望  
「ぎふ信長まつり」で木の住まい推進運動東濃地域ではキャンペーンガール先頭にPR
- ◆10月15～16日 東濃優良材展示会審査及び展示会（加子母村緑の館）
- ◆10月18日 製材品取引改善システム研究会（七宗町（株）丸七ヒダ川ウッド）
- ◆11月12日 JAS選別格付研修会
- ◆11月19日 木材乾燥研修会
- ◆12月9日 スギ材ブランド化委員会
- ◆1月21日 国産材产地体制整備事業プレカット技術研修会（恵那総合庁舎）
- ◆2月9日 「木材産業ビジョン」発表会
- ◆「国産材利用情報ネットワーク整備事業」平成5年度から国産材の利用供給に関する木材情報を収集・提供（通年）

#### （県林政の動き等）

- ◆県政の重点項目のひとつに「森林」が取り上げられる
- ◆「ラブ・グリーン」キャンペーン事業の発足と「岐阜県森林愛護隊」の結成



5月28日 第33回通常総会 小林会長挨拶



7月4日 東濃松の目揃会で格付け研修



10月21日 岐阜県木材厚生年金基金設立披露パーティ  
(岐阜グランドホテル)

## 1994年〈世の動き〉

岐阜県人口動態統計による平成4年の平均寿命 男 77.04 歳、女 82.54 歳▶リレハンメル五輪開幕▶岐阜の「名木」全国へ（淡墨桜、臥龍桜、莊川桜接ぎ木で増やして配布 {花の都岐阜} P R)▶中華航空エアバス名古屋空港で墜落 212 名死亡▶羽田内閣発足（4月28日）▶6月30日自・社・さきがけ連立政権、新首相に社会党村山富市委員長、1947年の片山哲内閣以来47年ぶり▶岩屋ダム貯水1%頼みの水がメついに枯渇、多治見市39.7度県内猛暑記録更新（8月4日）▶平成5年1年間の民間平均給与 452万円▶哀悼（海外）北朝鮮主席 金日成(82)、（国内）芥川賞作家 吉行淳之介(70)、俳優「水戸黄門」東野英治郎(86)

### 平成6年度

#### （県木連、県木材業界の動き等）

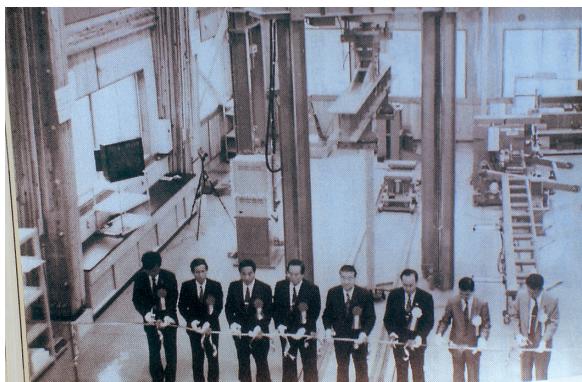
- ◆ 4月15日 トラック輸送安全対策協議会（トラックの過積載取り締り強化に対応）
- ◆ 4月27日 第4期中国人研修生閉講式（これまでに延べ20名の研修実績）
- ◆ 5月13日 東濃桧品質管理センター総会 6年度中に目揃会3回、東濃桧展示即売会5回開催（全国JAS展で東濃桧品質管理センター会員が多数受賞）
- ◆ 5月25日 県木材需要拡大協議会総会 6年度の活動方針 ①産直住宅の普及推進 ②「日本間をつくろう運動」を重点とする
- ◆ 5月30日 第34回通常総会 [役員改選] 理事40名、監事3名を改選。新理事による理事会の互選で会長以下新役員が決定。今山副会長の退職に伴う副会長に谷本敏彦氏、理事に集成材工業界から安立伊佐武氏、プレカット加工業界から小栗史司氏、事務局担当として専務理事に早川敏夫氏、常務理事（兼）事務局長に中垣勇三氏、監事に高橋道夫氏が就任し、その他小林会長の再任と以下全員留任となった
- ◆ 11月21日 第80回理事会 [新規加入組合] 東濃ひのき製品流通協同組合外7組合 加入協同組合数65組合
- ◆ 6月9日 岐阜県産直住宅建設促進連絡協議会通常総会（事務局を県木連に移転）
- ◆ 県木連等による「国産材産地体制整備事業」で東濃桧をモデルに、工業化製品供給体制整備事業により他品目化を研究し、製材品取引システム改善研究会では業界、行政との情報交換を取りまとめ2つの「報告書」を作成
- ◆ 10月8日 「木の日」では全県下総力をあげ「統一行動」で要望活動。支部活動では伊奈波・東濃・土岐支部で新聞広告でPR
- ◆ 12月16日 「ぎふ森林文化センター」竣工式 県木連等10団体入居
- ◆ 1月27日 県産直住宅建設促進連絡協議会は、阪神大震災へボランティア派遣を決定、17団体22チーム（約130名、延べ約910日）
- ◆ 2月15日 岐阜県木造住宅ローン（株）会社解散を決定（実績17年、設立目的達成）

#### （国林政の動き等）

- ◆ 製造物責任法（略称PL法）

#### （県林政の動き等）

- ◆ 県林政部の組織改正（森林山村対策課の新設、自然環境保全課、林産振興課の名称変更等大幅な再編整備）



5月11日 岐阜県林業センター木材開放試験室が開所



12月16日 岐阜森林文化センター完成



産直住宅協議会では、阪神淡路大震災でボランティアを派遣し、延べ約千人が活動した

## 1995年〈世の動き〉

1月17日午前5時46分マグニチュード7.2の「平成7年兵庫県南部地震」が発生、死者6,308人で戦後最大規模の惨事▶3月20日首都地下鉄にサリン（オウム真理教次々テロ活動）▶重くのしかかる不良債権、金融機関は破綻が相次ぐ▶8月中部新空港着工▶岐阜・富山県境の白川郷・五箇山が世界遺産に登録▶東京都知事に青山幸男氏当選、大阪府知事に山田勇氏（横山ノック）当選▶独特の「トルネード（竜巻）投法」、速球とフォークボールで三振の山を築く。米大リーグに挑戦した野茂英雄投手が「NOMO旋風」を▶哀悼（海外）歌手テレサ・テン(42)、（国内）作家 五味川純平(78)、元首相 福田赳夫(90)、宮大工棟梁 西岡常一(86)、天皇のおば 秩父宮勢津子(85)

### 平成7年度

#### （県木連、県木材業界の動き等）

- ◆4月1日 東濃桧品質管理センター展示即売会（中部木材総合センター等）、目揃会開催
- ◆4月10日 正副会長会議（延べ6回）
  - ①県木連の運営方針等 ②理事会提出議案 ③叙勲受賞者への対応 ④木材利用推進と普及宣伝活動 ⑤木材利用PR特別付加金の徴収
- ◆4月21日 阪神大震災ボランティア支援芦屋市長との鼎談など実施
- ◆5月8日 県産直住宅建設促進連絡協議会通常総会及び県木材需要拡大協議会総会
- ◆理事会の開催
  - 5月19日 第81回理事会
  - 8月7日 第82回理事会
  - 11月13日 第83回理事会
  - 1月26日 第84回理事会
- ◆5月29日 第35回通常総会
  - ①東濃桧、長良杉のブランド化推進 ②プレカット事業の整備強化 ③JAS製品普及促進等
- [役員補充選任] 小林三之助会長は顧問に就任し、後任の新会長に不破敏夫氏、高橋二郎副会长は相談役に、後任に富田真一氏が就任
- ◆7月20日 県木連主催海外視察（欧州4ヶ国）団長：谷本敏彦氏ほか12名により、イギリス・スウェーデン・デンマーク・ドイツの4ヶ国の高齢者住宅や大型木造建築物等調査
- ◆8月12日 県産直住宅建設促進連絡協議会主催の阪神大震災シンポジウム開催  
「阪神大震災に学ぶ—どうする住まいの地震対策」基調講演、シンポジウムの開催等
- ◆県産直住宅建設促進連絡協議会による「匠人の震災ボランティア奮戦記」出版活動：期間2月～5月、約100日間、延べ約1,000人によるボランティア活動状況記載
- ◆10月8日 「木の日」統一行動
- ◆10月27日 スギ材ブランド化事業「長良杉展示即売会」を東海木材相互（株）大口市場で開催。美山の「ピュアボード」初登場
- ◆11月12日 「第39回全国銘木展示大会」
- ◆1月17日 拡大協10団体による「木材利用拡大PR委員会」設立（委員：県木連不破会長外15名）。1月26日第1回協議会開催 ①3ヵ年継続事業 ②拠出金は毎年2千万円合計6千万円を決定

#### （国林政の動き等）

- ◆緑の募金による森林整備等の推進に関する法律制定
- ◆7月1日から 製造物責任法（PL法が施行）



産直住宅協が「匠人の震災ボランティア奮戦記」刊行



7月20日 欧州4ヶ国の高齢者住宅等調査（参加者13名）



セリの状況

## 1996年〈世の動き〉

1月自民、社会、さきがけの三党連立橋本内閣発足▶4月22日平均株価が4年ぶりに2万2千円台を回復▶6月25日JR高山線（下呂市）で特急列車が巨大岩石に衝突脱線、乗客17名がけが▶6月25日消費税率5%を閣議決定、97年4月1日から施行▶病原性大腸菌O(オ-)157による食中毒が日本列島を襲う▶米国のアトランタで五輪開幕、女子柔道の田村亮子選手敗れる波乱▶10月30日御嵩町長の柳川喜郎氏襲われ大けが▶この年の新語、流行語「アムラー」「プリクラ」「援助交際」「メークドラマ」▶哀悼（海外）仏前大統領 フランソワ・ミッテラン（79）、（国内）作家 司馬遼太郎（72）、芸術家 岡本太郎（84）、俳優渥美 清（68）

### 平成8年度

#### （県木連、県木材業界の動き等）

- ◆5月8日 県木材需要拡大協議会通常総会  
名称「岐阜県木材利用推進協議会」に改称
- ◆【木材利用PR事業】（通年）「新聞」朝日、岐阜、中日、〈木と健康〉「テレビスポット」東海、岐阜テレビ  
「テレビ30分番組」岐阜及び関東民放6局等放映〈木造住宅の耐震性、住環境等〉  
「インターネット」3月ホームページ立上げ  
「パンバーステッカ」健康一番・木が一番  
県補助金 10,000千円  
拠出金等 20,100千円  
事業費計 30,100千円
- ◆9月 木材PR事業に対し、県が1千万円の助成を決定、単年度事業費3千万円に増額
- ◆理事会の開催  
5月17日 第85回理事会  
8月7日 第86回理事会  
11月18日 第87回理事会
- ◆5月29日 第36回通常総会  
8年度の主要事業  
①木材PR大作戦 ②東濃松、長良杉振興策  
③木造住宅耐震対策と産直住宅振興等
- ◆5月29日 県木材産業政治連盟主催講演会  
テーマ「人と自然との共生東洋医学に学ぶ」  
講師 岐阜薬科大学講師 篠田 雄介氏
- ◆6月4日 東濃松品質管理センター総会  
①「和風迎賓館」に東濃松使用を要望  
②東濃松展示即売会5月21日外12回  
③JAS製品の安定供給等
- ◆新JAS規格 9年1月11日から施行  
①針葉樹の造作用材の日本農林規格  
②針葉樹の下地用材の日本農林規格  
③広葉樹の製材の日本農林規格
- ◆10月7日 【全国産直住宅サミット】  
「シンポジウム」わが村・わが町の産直住宅とこれからのですむべき方向（恵那市）
- ◆10月8日 「木の日」の統一行動
- ◆10月8日 初の「全国木の日フォーラム」  
講演会 講師 国際政治学者 舛添要一氏
- ◆「長良杉住宅評価検討事業」平成7～8年度の2年度でプレカット化実証と住宅性能評価について、エンドユーザの意見聴取
- ◆3月3日 木材乾燥研修会の開催

#### （国林政の動き等）

##### ◆林野三法成立

（「林業改善資金助成法・林業等振興資金暫定措置法の一部改正法」「林業労働力の確保の促進に関する法律」「木材の安定供給の確保に関する特別措置法」）



[PR事業] 俳優 柳生 博さん「木の家と、生きよう。」新聞広告で第一弾



[PR事業] 「木と健康」「素晴らしい木の世界」等で活発なPR活動



10月7日 初の「全国産直住宅サミット」  
(恵那峡グランドホテル)

## 1997年〈世の動き〉

1月ロシアのタンカー・ナホトカが日本海で遭難。船尾がちぎれて重油流出▶4月から消費税3%→5%に▶御嵩町産廃処分場の建設の是非を問う住民投票を呼びかけ、開票の結果「反対」が多数▶155年の英統治がおわり、香港が中国に返還された▶温暖化防止へ京都会議開幕▶11月山一証券自主廃業▶一世帯の平均所得660万円（国民生活基礎調査）▶森林破壊、3年で日本の面積分消滅（FAO報告）▶2005年万博愛知県で開催決定▶安房トンネル開通▶今年の流行語大賞「失樂園」2位「郵政3事業」▶哀悼（海外）中国の最高実力者鄧小平（92）、ダイアナ元英皇太子妃（36）交通事故死、マザー・テレサ（87）9月心臓発作で、（国内）女優 杉村春子（91）、ソニーの創業者 井深大（89）

### 平成9年度

#### （県木連、県木材業界の動き等）

- ◆ [木材利用拡大PR事業] （通年）  
キーワード「安全」「健康」「快適」  
[新聞] 岐阜、中日、読売、中部経済15回  
[テレビ] 東海、岐阜テレビ外（15秒）  
[その他] バス広告、ポスター、ラジオ等  
[講演会] ~「東洋医学に学ぶ木と健康」  
講師：岐阜薬科大学講師 篠田 雄介氏  
「木造建築と健康環境」  
講師：相山女学園大学教授 柳澤佐和子氏  
[パンフレット] ~「木と健康」2万部作成  
県補助金 10,000千円  
拠出金等 20,762千円  
事業費計 30,762千円
- ◆ 5月8日 木材利用推進協議会通常総会
- ◆ 5月9日 プレカット協議会通常総会
- ◆ 理事会開催  
5月16日 第88回（総会事項等）  
8月7日 第89回（PR事業等）  
9月26日 第90回（会長選出等）  
11月20日 第91回（執行状況等）
- ◆ 5月29日 第37回通常総会  
9年度の主要事業  
①木材産業の構造改革 ②木材利用の推進等  
[定款の一部改正] 理事40名⇒38名  
監事3名⇒2又は3名  
[役員改選] 任期満了に伴う役員改選  
会長 不破 敏夫氏  
副会長 伊藤 勇氏 桑原 善吉氏  
谷本 敏彦氏 富田 真一氏  
河渡 幸夫氏 各務 学氏  
戸田 清佐氏（常勤）  
専務 中垣 勇三氏（常勤）
- ◆ 6月9日 東濃桧品質管理センター通常総会  
・目揃会：2回 ・展示即売会：6回
- ◆ 8月31日 県木連会長 不破敏夫氏逝去  
9月3日 故不破敏夫氏葬儀（善照寺）
- ◆ 9月26日 第90回理事会において、前県木連会長 不破敏夫氏死去に伴う後任会長に谷本敏彦氏が就任された
- ◆ 10月8日 「木の日統一行動」
- ◆ 2月17日 不況対策の金融措置説明会
- ◆ 2月「98住まいの総合展ぎふ」4企業 3月  
「あいち住宅フェア」4企業6団体出展
- ◆ 3月3日 萩原町で木材乾燥研修会開催

#### （国林政の動き等）

- ◆ 林政審議会答申（「林政の基本方向と国有林野事業の抜本的改革」）、森林組合合併助成法の一部を改正する法律制定、森林病害虫等防除法改正
- ◆ 4月1日 「週40時間労働制」施行
- （県林政の動き等）
- ◆ 岐阜県産直住宅累計2万戸を達成



「PR事業」俳優柳生博さんの「健康は木でつくる。」のパネル



【PR事業】収録を終えた俳優森山周一郎さんを囲んで記念撮影（付知峡「創作工房」）



「木の日」の要望 梶原知事への要望

# 1998年〈世の動き〉

不況深刻化で失業率4%台続く、失業者は300万人寸前で推移し最悪、長銀・日債銀一時国有化▶2001年に1府12省庁制に中央省庁等行政改革基本法成立、郵政事業を公社化▶7月25日和歌山市園部の夏祭りでカレーライスにヒ素混入、小学生ら4人死亡▶2月「第17回冬季オリンピック長野大会」開幕、ジャンプなど金メダルラッシュ▶明石海峡大橋開通（神戸→徳島間3,911m）▶参院選自民敗、小渕政権発足▶「商品券」地域振興券の自、公両党の政策協議で決定（11月）▶12月地域振興券発行でてんてこ舞い、来年3月発行で中部の自治体▶哀悼（海外）米国の歌手フランク・シナトラ、（国内）映画監督 黒沢明（88）、織田幹雄（93）日本人初の金メダリスト

## 平成10年度

### （県木連、県木材業界の動き等）

- ◆ [木材利用拡大PR事業]（通年）  
キーワードは「安全」「健康」「快適」  
[新聞広告]～タレント柳生博さんの「健康は木でつくる」中日、岐阜・読売・中部経済新聞に延べ21回掲載  
[テレビ]～タレント柳生博さんの「健康に暮らすなら木の家がいい」東海、中京、岐阜放送等でスポット放送で延べ200回放送、タレント森山周一郎さんの「夢情報ぎふ」  
10年度県補助金 10,000千円  
拠出金等 20,676千円  
事業費計 30,676千円

第一期PR事業は10年度で終了し、総事業費は91,538千円となった

- ◆理事会開催  
5月29日 第92回（総会議案承認外）  
8月7日 第93回（木材PR事業外）  
11月20日 第94回（企画委員会設置外）

- ◆5月29日 第38回通常総会  
10年度の主要事業  
①木材産業不況対策と構造改革への取組み  
②公共建築物への木材利用推進とPR強化  
③県木連関連団体組織の再編  
・現11団体を5団体に整備し県木連、木材政治連盟、木推協、産直協、木青連とし、同一日に総会開催（県木青連の総会は別途開催）

- ◆素材生産体制整備推進強化  
県森林施業協議会等を対象に講習会1回、集合研修4回等実施

- ◆東濃桧品質管理センターの活動  
東濃桧展示即売会を初めて関東地域開催  
JAS製材品展示会（国主催） 2回  
JAS製材品展示会（県木連主催） 7回
- ◆「地域木材・住宅産業活性化セミナー」  
[基調講演] 地域型住宅の再生を目指して  
講師：（株）「野元」代表取締役 森山輝男氏  
[パネルディスカッション]（8月7日下呂市）
- ◆10月8日 「木の日統一行動」
- ◆12月1日 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正により焼却施設の規制強化

### （国林政の動き等）

- ◆地球温暖化対策推進法制定、地球温暖化対策推進大綱策定
- ◆建築基準法改正
- ◆森林法改正（市町村森林整備計画制度の拡充等）



[PR事業] 子供の写真入りタペストリー



[PR事業] 「夢情報ぎふ」森山周一郎氏と粥川加子母村長及びかしまもひのき建築協賛理事長



[PR事業] 新春特別番組「健康・快適・ウッディライフ」（岐阜放送）

## 1999年〈世の動き〉

欧洲11ヶ国单一通貨「ユーロ」誕生、1ユーロ 132 円80銭▶岐阜県の人口 211 万7768人（前年10月1日現在）▶東海3県倒産最悪の1,365件（前年1年間）民間調査機関統計▶産廃排出業者にも罰則、岐阜県が全国に先駆け包括条例案▶JR東海と鉄道総合研究所が山梨リニア実験線で有人リニアで552キロの世界最速を記録▶JRセントラルタワーズ開業（12月）▶コンピューター2000年問題、官民合わせて200万人待機（12月31日）▶世界一高い木 111.7メートルで新王座、米西海岸の「セコイア」ギネス認定▶哀悼（海外）ヨルダンのフセイン国王（63）、（国内）画家 東山魁夷（90）、歌手 淡谷のり子（92）

### 平成11年度

#### （県木連、県木材業界の動き等）

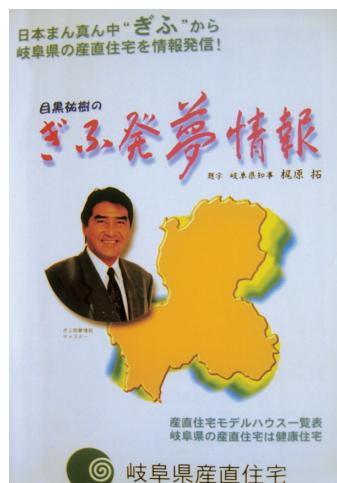
- ◆「第二期木材利用PR事業」の実施（通年）  
県産直住宅協議会による「地域木造住宅普及促進事業」11～13年度の3ヶ年事業補助対象事業費1,760万円予定  
[テレビ]「夢情報ぎふ」タレント目黒祐樹さんと森山周一郎さんの出演  
[新聞広告]「木と健康」「岐阜の産直住宅」等を中日、岐阜新聞に広告掲載  
[住宅フェア]県内外でフェアを実施  
9月「建築総合点NAGOYA」6組合出展
- ◆正副会長会議  
4月26日 第39回通常総会提出議案等協議  
7月12日 地域木造住宅普及促進事業等協議  
11月1日 県木連会長の選任について協議  
2月23日 県木連定款の改正について協議
- ◆理事会の開催  
5月28日 第95回（会員の加入脱退承認）  
7月12日 第96回（副会長の補充等 外）  
11月24日 第97回（県木連会長選任等）
- ◆5月28日 第39回 通常総会（未来会館）  
11年度の主要事業  
①住宅品質確保促進法案による対応  
②不況対策と融資制度の活用等  
③木材利用の推進とPR事業の継続 等
- ◆5月28日 県木材産業政治連盟主催講演会  
「木質廃棄物のリサイクルの現状とダイオキシン対策」  
講師 ウッドエンジニアリング（株）  
代表取締役 石田 信正氏
- ◆8月30日「地域木材・住宅産業の新時代」「パネルディスカッション」[講演会]の開催  
「木材・住宅産業の新時代への道筋」  
講師 東海大学総合科学研究所  
教授 唐津 一氏 （未来会館）
- ◆9月24日 県木連会長 谷本敏彦氏ご逝去  
10月19日 故谷本敏彦氏葬儀（岐阜善照寺）
- ◆10月8日「木の日統一行動」  
間伐材の利用で中部地建・東海農政局へ要望
- ◆大型木造建築セミナー（加子母村、朝日村）  
講師 芝浦工業大学教授兼 アルセット建築研究所所長 三井所清典氏  
東京大学大学院研究生 栗田 紀之氏
- ◆東濃桧品質管理センター展示即売会等  
東京中央市場で2回、県内3回、愛知県2回  
京都の「和風迎賓館」に東濃桧の活用を要望

#### （国林政の動き等）

- ◆住宅の品質確保の推進等に関する法律制定  
(購入者保護、悪徳業者排除、信頼性向上等)



11月15日 公開セミナー「検証// 住宅をめぐる大改革」  
(岐阜県科学技術センター)



「ぎふ初夢情報」目黒祐樹キャスターによる産直の広報活動始まる



木の日の要望活動 梶原知事への要望